

町中心部へ観光バス駐車場を

周辺の整備状況を見極め進める



議員 田老賢也
(政 和 会)

問 現在、町内へ観光に来たツアー客はうみねこ商店街や新生やまだ商店街に立ち寄るが、駅周辺には観光バス駐車場の受け入れ体制が整っていない。早急に整備すべき。

佐藤町長 駐車場は、国道45号沿いの区画整理事業地内を予定している。早急な整備は難しいが、周辺の整備状況を見極めながら進める。

問 整備場所などについて、実際にツアー客を受け入れていく窓口やスタッフからしっかり意見聴取をしているか。

武藤水産商工課長 直接の意見聴取はしていないが、受け入れを手伝っている復興コーデイネーターから現状は聞いています。ぜひ意見交換しても

らいたい。先日、大阪からのツアー客に同行したが、途中で雨が降り出して大変だった。雨のため急きよバス移動となったが、駐車場が遠く雨の中で待機が必要になった。せっかく来町してくれたお客さんに楽しんでもら

うためにも快適な環境を整えるべき。
水産商工課長 今は乗降場所がなく、雨が降った際の対応や高齢者の足腰に考慮した対応ができていないと聞いている。それらに関しても整備を進めていきたい。



現状では観光客のニーズに応えられていない

その他の質問

- ◆山田町にも子ども子育て基金創設を
- ◆列車・バス・タクシーなどの総合的な交通計画は

観光へAR・MRの活用を

事例を参考に調査・研究する

問 3月11日に放送された旧陸中山田駅のAR再現プロジェクトが好評であった。これを観光面で活用しては。

町長 観光の魅力は「触れる・味わう」などARなどでは再現できない実体験の提供であると認識している。現時点で活用する考えはない。

問 「見る」という行為も実体験に他ならない。ましてARは多少の動作も伴う。これは実体験の提供に他ならない。

水産商工課長 その場所に来て触れるというのが基本と考えている。まずは体験観光プログラムの提供を進めていきたい。

問 ARはその場所を訪れて体験することもできる。例えば町内の被災各地にQRコードを設置すれば、観光客がQRコードを読むことで、目の前の復興後の風景と、スマホ・タブレットに表示された過去の町並みを比較

することもできる。まさに体験観光では。

水産商工課長 まずはコーデイネーターが進めている観光プログラムを通じて町への集客をしたい。

問 プログラムに取り込めばよい。町内を訪れるツアーでは、お客さんにツアー会社からタブレットが配布されている。高齢者も教えられて使っており、環境は整っている。

水産商工課長 AR活用を否定するものではない。今後勉強していく。

ことば

AR(拡張現実) 現実世界にデジタル情報を付与し、仮想現実を現実世界に反映(拡張)したものの。
MR(複合現実) 人工的に作られた仮想世界と現実世界の情報を組み合わせ、仮想世界と現実世界を融合させる技術。